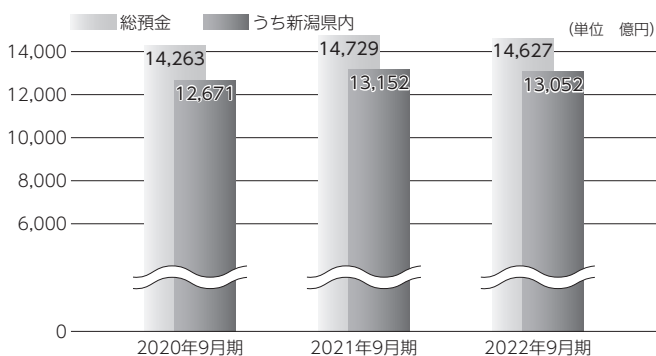


2022年度中間決算ダイジェスト (単体)

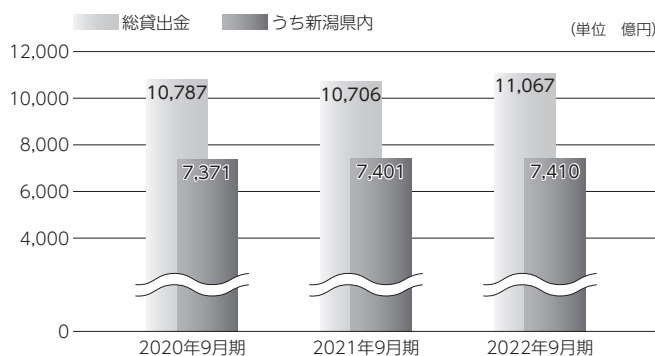
■ 預金残高



預金等残高(含む譲渡性預金)は、個人預金は増加したものの、公金預金などの減少により前年同期比102億円減少の1兆4,627億円となりました。

新潟県内預金等残高は1兆3,052億円、県内預金比率は89%です。

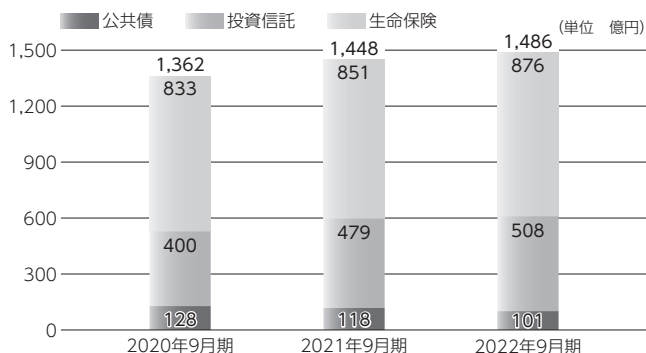
■ 貸出金残高



貸出金残高は、中小企業向け貸出が、新潟県内向け、県外向けとも増加したほか、住宅ローンの増加により個人向け貸出が増加し、前年同期比361億円増加の1兆1,067億円となりました。

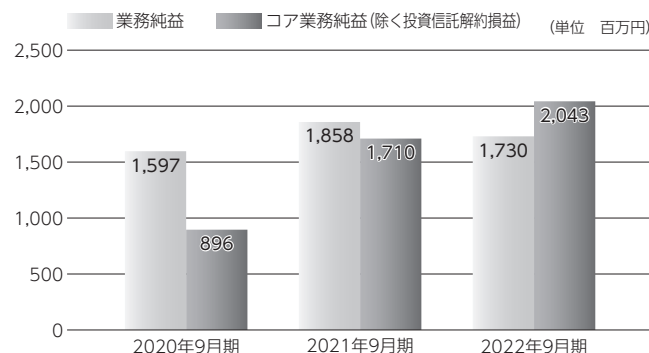
新潟県内貸出金残高は7,410億円、県内貸出金比率は66%です。

■ 預り資産残高



預り資産残高は、マネーアドバイザーを中心に、お客さまの資産運用ニーズに積極的にお応えし、投資信託、生命保険ともに増加したことにより、前年同期比38億円増加の1,486億円となりました。

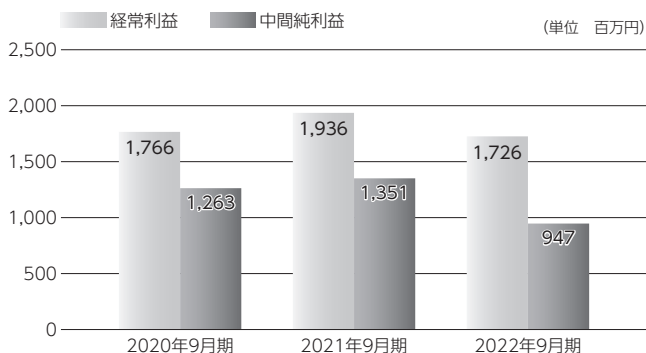
■ 業務純益・コア業務純益 (除く投資信託解約損益)



コア業務純益(除く投資信託解約損益)は、経費の減少や役員取引等利益の増加などにより、前年同期比で3億33百万円増益の20億43百万円となりました。

業務純益は、前年同期比1億28百万円減益の17億30百万円となりました。

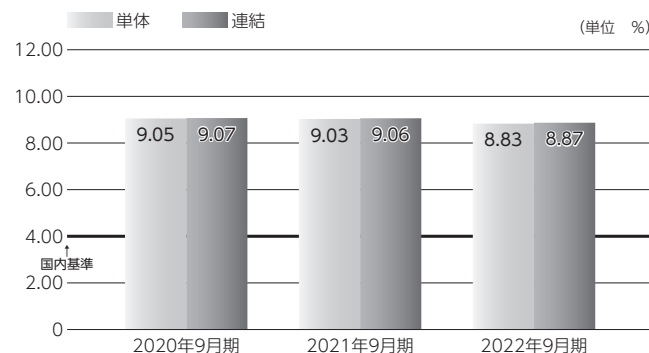
■ 経常利益・中間純利益



経常利益は、コア業務純益(除く投資信託解約損益)が増加し、不良債権処理額は減少したものの、有価証券関係損益を主な減益要因として、前年同期比2億10百万円減益の17億26百万円となりました。

中間純利益は、前年同期比4億4百万円減益の9億47百万円となりました。

■ 自己資本比率



自己資本比率は、単体が8.83%、連結が8.87%といずれも規制値の4%を大きく上回る水準であり、引き続き高い健全性を維持しております。